

要 望 書

成田線（我孫子～成田間）活性化推進協議会
令和2年10月9日

要 望 書

本協議会の活動につきましては、平素から格別の御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

成田線沿線地域は、首都東京から至近な距離にあることから、東京への通勤・通学圏として発展してきた地域であり、成田線の輸送力強化及び利便性向上が沿線自治体のまちづくりの最重要課題となっています。

こうしたことから、成田市、柏市、我孫子市、印西市、栄町、利根町、河内町を構成員とする本協議会では、成田線の輸送力強化と利便性向上を促進するとともに、沿線内外の利用促進を図り、成田線の活性化を推進することを目的として活動しています。

2021年4月1日には成田線（我孫子～成田間）開業120周年の節目となります。当協議会はこの機会に、成田線沿線の魅力を発信し、一人でも多くの方が成田線を利用していただけよう記念事業を検討しています。

このような中で、昨年3月のダイヤ改正においては、夜間の下り列車2本の我孫子駅での停車時間が短縮され、常磐線から成田線への接続改善をしていただきました。また、本年3月のダイヤ改正において、成田線における夕方から夜間の品川発、上野東京ライン経由の成田行きを6本から7本に、成田発、上野東京ライン経由の品川行きを2本から3本に拡大していただきました。

成田線の利便性向上に特段のご配慮をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

しかしながら、朝の通勤・通学時間帯では、常磐線の上野東京ライン乗り入れ列車の本数が増便したものの、成田線の増発はありません。

今後、成田線のさらなる利便性の向上が次期ダイヤ改正において期待されているところです。この機会に、次の項目については是非とも実現いただくよう要望いたします。

1. 成田線の増発について

本年3月のダイヤ改正において、成田線における夕方から夜間の品川発、上野東京ライン経由の成田行きを6本から7本に、成田発、上野東京ライン経由の品川行きを2本から3本に拡大していただきましたが、成田線の増便とはなりません。成田線から常磐線に乗り換えて東京・品川方面へ通勤・通学する方にとっては朝の通勤・通学時間帯に成田線の本数が増えれば、上野東京ライン乗り入れ列車を利用する機会が増え、大幅に利便性が向上します。また、これにより、成田線各駅の乗客人員がさらに増加することが期待できます。

このことから特に通勤・通学時間帯での我孫子駅～成田駅間を走る列車の増発について、次期ダイヤ改正での実現を要望いたします。

2. 成田空港へのアクセス向上について

(1) 成田空港への快速列車の運行

成田空港では、発着容量30万回化の合意以降、LCCを含めた国際線・国内線の新規就航や増便をはじめ、LCC専用ターミナルビルが整備されるなど新たな動きが活発化しています。また、訪日外国人旅行者は年間3,188万人を超え、今後、さらに増加が見込まれています。

こうした中、成田空港へのアクセスについては、成田エクスプレスや成田スカイアクセスなどの整備により東京方面からの利便性は飛躍的に向上しているものの、人口集積地域である松戸市、柏市、我孫子市が位置する千葉県北西部をはじめ、茨城県、埼玉県など北関東地域からのアクセスは一向に改善されていません。

つきましては、北関東地域からの空港アクセスとして、武蔵野線や常磐線から成田線を経由して成田空港に向かう快速直通列車の運行を要望いたします。また、成田線の列車についても、成田空港への直通運行ができるよう要望いたします。

(2) 成田新高速鉄道（成田スカイアクセス線）との交差部への新駅の設置

成田新高速鉄道（成田スカイアクセス線）では、成田線の交差部に新駅「成田湯川駅」が設置されました。この場所にJR東日本の駅が設置されれば乗り換えが可能となり、成田線から空港への乗り継ぎ改善が図られ、成田線を利用した空港利用者の増加が考えられます。また、列車のすれ違い施設にもなり、1時間当たりの運行本数も増やすことが可能と考えられます。

つきましては、こうした構造となる新駅の設置を要望いたします。

3. 千葉方面へのアクセス向上について

成田線の各駅から成田駅経由で千葉方面へ通勤・通学する方の利便性向上のため、千葉方面への直通運行を要望いたします。

4. 成田線各駅の施設整備について

◇ 各駅共通要望事項

- ・ 駅前広場を利用した地域の魅力向上への支援を要望します。
- ・ 非常時に対応するため、駅係員呼出インターホン等の整備を要望いたします。また、AEDについては、未設置の駅への設置を要望いたします。

◇ 東我孫子駅

- ・ 駅構内に向かう経路（踏切）で、高齢者や小さな子供連れの利用者が使いやすくなるよう段差の解消を行い、利便性の向上を図るとともに、駅利用者の事故防止策実施を要望いたします。また、ホームの上屋の設置を要望いたします。

◇ 新木駅、布佐駅、木下駅、小林駅

- ・ 上り始発列車の運行時（小林駅5時03分、木下駅5時08分、布佐駅5時11分、新木駅5時15分）に券売機が稼働していません。利用者の利便性向上を図るため始発列車運行時からの券売機稼働を要望いたします。

◇ 安食駅

- ・ 駅舎及び付帯施設については、塗装が落ちている箇所が見受けられ、駅利用者からも改善を求める意見が寄せられています。駅のイメージアップを図るためにも、駅舎及び付帯施設の塗り替えを要望いたします。
- ・ 利用者の利便性を向上させるため、下り線ホームへの上屋の設置を要望いたします。
- ・ 安食駅窓口営業時間の復活または営業時間外の券売機の稼働を要望いたします。

5. 地震や大雪等の自然災害発生時における対策について

(1) 情報提供の円滑化

地震や大雪、集中豪雨、台風等による災害発生時には、鉄道の運行に係る情報を確実に伝達できる広報・情報提供の体制を整備していただくとともに、迅速かつ正確な、運転取りやめ、運転再開の見込み等の情報提供を要望します。

また、復旧の見通しの状況等に応じて、被害状況や復旧作業の状況、代替交通手段の運行等に係る分かりやすい情報提供の実施をお願いします。

その際は障害者等にも配慮した形での情報伝達を要望します。

(2) 輸送障害等に関する対策の推進

台風や大雪等の自然災害時における運転見合わせや遅延などが頻繁に発生しています。

そのため、自然災害時にも対応できる軌道敷等の基盤整備のさらなる推進について要望いたします。

6. 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症は、収束までに相当の期間を要することが想定されることから、感染拡大防止に向けた持続的な対策が求められます。

つきましては、利用者の健康と安全を守るため、令和2年5月に国や鉄道連絡会から示された新型コロナウイルス感染症対策における鉄道の運行の考え方やガイドラインを踏まえて、引き続き、マスクの着用、うがい・手洗い、消毒、換気及び検温の励行、防護措置など対策の徹底を要望します。

令和2年10月9日

東日本旅客鉄道株式会社
執行役員
千葉支社長 中川晴美様

成田線（我孫子～成田間）活性化推進協議会
会長 我孫子市長 星野順一郎

成田線(我孫子～成田間)活性化推進協議会名簿

会 長	我孫子市長	星 野 順一郎
副会長	印西市長	板 倉 正 直
〃	栄町長	岡 田 正 市
監 事	成田市長	小 泉 一 成
〃	利根町長	佐々木 喜 章
委 員	成田市議会議長	秋 山 忍
〃	柏市長	秋 山 浩 保
〃	柏市議会議長	助 川 忠 弘
〃	我孫子市議会議長	西 垣 一 郎
〃	印西市議会議長	板 橋 睦
〃	栄町議会議長	橋 本 浩
〃	利根町議会議長	船 川 京 子
〃	河内町長	雑 賀 正 光
〃	河内町議会議長	服 部 隆